

〈事業報告〉

I 事業状況

1. 日独学術文化に関する研究並びにその助成（定款第4条第1項第1号）

〈第28回公開シンポジウムの開催〉

（1）開催日と場所：

平成30年11月25日（日） 京都教育文化センター 302号室

（2）参加者： 46名

（3）テーマ： 連続テーマ「文明」の2回目として「文明の生成パラダイム。〈海〉と〈法〉からの視点」。

（4）基調講演：

- ・川勝平太氏（静岡県知事）：「近代文明の生成と海」
- ・高山佳奈子氏（京都大学大学院法学研究科教授、本法人監事）：
「持続可能な法秩序の構築」

（5）討論：

- ・コメンテーター：山極壽一氏（京都大学総長・本法人名誉顧問）
- ・司会：大橋良介氏（本法人所長）

参加者からの質疑等もあり、活発な討論が展開された。

2. 日独学術文化に関する図書雑誌の編集及び出版刊行（定款第4条第1項第2号）

〈年報の刊行 平成30年度年報『文明と哲学』第11号〉

（1）刊行月・出版社： 平成31年3月、こぶし書房

（2）編集代表： 谷徹理事

（3）内容：

[特集 コンパシオンとパトスとエトス]

【対談】

- ・貫成人×関口浩「舞踊家の感性とそのコンテンポラリテート——ピナ・バウシユと勅使河原三郎」

【論考Ⅰ】

- ・大橋良介「〈責任〉の深層——人間本性の内なる反一本性について コンパシオン（悲）の現象学 続（一）」

- ・秋富克哉「「悲劇」をめぐる一試論——ハイデッガーのニーチェ解釈をめぐる
て」
- ・谷徹「文明・文化と「数」——生—世界から」
- ・安部浩「和辻倫理学の初心——道心から慈悲の行へ（一）」
- ・鈴木崇志「断絶と共生——フッサールの「共感」概念に関する一考察」
- ・和田信「死の不安を抱える人に向きあう——共感と間主観性」

【論考Ⅱ】

- ・上田正基「刑事政策における「共感」と「信頼」——良き刑事政策を考えるた
めの一試論」
- ・高山佳奈子「タトゥー医師法裁判と罪刑法定主義」
- ・高田篤「ドイツ国法学者協会と日本公法学会」
- ・水野友晴「純粹経験と靈性——西田幾多郎と鈴木大拙をつなぐ「自覚」の問題」
- ・関口浩「問うなかれ、黙して傾聴せよ——ハイデッガーと小林秀雄」
- ・小田昇平「非在から不在へ、「観光のまなざし」と「ラカン的まなざし」との
同一化——『ラブライブ！ サンシャイン！！』の事例から」

【公開シンポジウム「文明」】

- ・湯本貴和「ヒトは生態系の破壊者か創造者か」

3. 日独学術文化に関する講習会、講演会及び談話会等の開催（定款第4条第1項第3号）

〈哲学講座「初夏講座」〉

（1）開催日と場所：

- 第1回：平成30年6月20日（水）
- 第2回：同6月27日（水）
- 第3回：同7月4日（水）
- 第4回：同7月11日（水）
- 第5回：同7月18日（水）
- 第6回：同7月25日（水）

会場はいずれも公益財団法人日独文化研究所セミナー室

（2）受講者： 31名（学生・院生・OD 15名、一般 16名）

(3) 講師： 加國尚志氏（立命館大学教授）

(4) テーマ： 「身体の哲学と西洋哲学史——メルロ＝ポンティと哲学者たち」

〈哲学講座「中秋講座」〉

(1) 開催日と場所：

第1回： 平成30年10月9日（火）

第2回： 同10月16日（火）

第3回： 同10月30日（火）

第4回： 同11月13日（火）

第5回： 同11月27日（火）

第6回： 同12月4日（火）

会場はいずれも公益財団法人日独文化研究所セミナー室

(2) 受講者： 11名（学生・院生・OD2名、一般9名）

(3) 講師： 加須屋明子氏（京都市立芸術大学教授）

(4) テーマ： 「ポーランド的感性と現代美術の行方」

〈哲学講座「初春講座」〉

(1) 開催日と場所：

第1回： 平成31年2月12日（火）

第2回： 同2月19日（火）

第3回： 同2月26日（火）

第4回： 同3月5日（火）

第5回： 同3月12日（火）

第6回： 同3月19日（火）

会場はいずれも公益財団法人日独文化研究所セミナー室

(2) 受講者： 32名（学生・院生・OD16名、一般16名）

(3) 講師： 加國尚志氏（立命館大学教授）

(4) テーマ： 「メルロ＝ポンティとフランス現代思想」

4. 日独学術文化に関する図書及び資料の収集並びに公開（定款第4条第1項第4号）

〈所報の発行〉

(1) 刊行年月： 平成30年11月（第7号）

(2) 内容： 本法人の活動内容や事業報告を、一般の人々にもわかりやすいようにとりまとめ、賛助会員をはじめ、事業参加者などに配布。

また、平成31年4月以降、本法人ホームページでも公開予定。

本法人の活動を広く知らせるために、今後も年1回刊行予定。

〈地下書庫の整理〉

(1) 内容： 地下書庫の蔵書を整理し、日独学術文化に関する図書及び資料の収集並びに公開のために活用できる空間を、所長の指揮のもとで整備した。蔵書については、不要と判断される5,584冊を処分した。蔵書数は平成31年3月31日現在で2,069冊であることを確認している。

5. 日独学術文化に関する研究者の招待、派遣及び交換（定款第4条第1項第5号）

国内の学会、大学と連携して、主にドイツから学者を招へいし、講演会等を開催した。

〈クリスチャン・ブムケ氏講演会〉

(1) 開催日と場所： 平成30年10月20日（土）

大阪大学待兼山会館2階会議室

(2) 講師： クリスチャン・ブムケ氏（ドイツ・ブチェリウス・ロースクール教授）

(3) テーマ： 「ドイツ国法学における基本法下の基本権ドグマティックの展開」

(4) 参加者： 24名

〈ワークショップ「芸術的感性の現在」〉

(1) 開催日と場所： 平成30年11月23日（金）

ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川 大ホール

(2) 提題者： 小田昇平氏（沼津工業高等専門学校）、平井直子氏（大阪新美術館建設準備室）、貫成人氏（専修大学）、関口浩氏（早稲田大学、本研究所研究員）、アンナ・ツシャーワ氏（マックス・プランク経験美学研究所（フランクフルト・アム・マイン））、エンリコ・フォンガロ氏（東北大学）、加須屋明子氏（京都市立芸術大学）

(3) 総括コメント： 杉山卓史氏（京都大学）

(4) 参加者： 24名

〈黄舒芃氏講演会〉

- (1) 開催日と場所： 平成 30 年 12 月 1 日 (土)
 大阪大学中之島センター404 号室
- (2) 講師： 黄舒芃氏 (台湾・中央研究院・法律学研究所)
- (3) テーマ： 「連邦憲法裁判所の実質化の兆しに対する批判——ドイツにおける同性生活パートナーの平等化についての議論を例として」
- (4) 参加者： 22 名
- (5) 共催： 大阪大学法学会

〈クリスチャン・ヴァルトホフ氏講演会〉

- (1) 開催日と場所： 平成 31 年 3 月 2 日 (土)
 大阪大学中之島センター507 号室
- (2) 講師： クリスチャン・ヴァルトホフ氏 (フンボルト大学教授)
- (3) テーマ： 「ドイツ憲法における債務ブレーキ」
- (4) 参加者： 23 名
- (5) 共催： 貨幣を基礎とした財政憲法の理論的・制度的考察 (JSPS 科研費若手研究 (B)、研究代表者：片桐直人)
 政策実現過程のグローバル化に対応した法執行過程・紛争解決過程の理論構築 (JSPS 科研費基盤研究 (B)、研究代表者：原田大樹)

● 公益事業別の事業実績の内容内訳 (単位：円)

平成 30 年度 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日) 減価償却費を雑費他に含む。

定款第4条	事業内容	給与	福利厚生	諸謝金	会議費	旅費交通費	通信費	消耗品	印刷製本	支払手数料	雑費他	計
研究並びにその助成	公開シンポジウム	-	-	222,740	81,749	-	42,338	216	88,491	324	-	435,858
編集及び出版刊行	年報	-	-	-	-	-	17,693	-	1,858,007	2,052	-	1,877,752
講習会・講演会等	哲学講座	-	-	501,168	-	10,840	115,348	-	196,020	-	-	823,376
資料の収集公開配布	所報・書庫	-	-	88,000	-	-	-	3,236	61,344	5,616	-	158,196
研究者の招待・派遣等	学術交流	-	-	470,829	13,206	104,950	2,130	-	-	540	-	591,655
職員人件費他		2,604,679	361,165	-	-	55,875	179,730	135,706	-	-	33,886	3,371,041
	合計	2,604,679	361,165	1,282,737	94,955	171,665	357,239	139,158	2,203,862	8,532	33,886	7,257,878

II 登記、届出、報告事項等

- 平成 30 年 6 月 27 日 内閣府に事業報告等に係る提出書を提出。
- 平成 30 年 7 月 17 日 役員の異動について登記を行う (任期満了による役員等改選)

にともなう評議員・理事・監事の異動)。

3. 平成 31 年 3 月 20 日 内閣府に事業計画等に係る提出書を提出。

Ⅲ 職務の概要

1. 役員の変動

- (1) 評議員の重任
- | | |
|---------|---------------------|
| 安部 浩 氏 | (平成 30 年 6 月 27 日付) |
| 阿部 光幸 氏 | (平成 30 年 6 月 27 日付) |
| 木村 敏 氏 | (平成 30 年 6 月 27 日付) |
| 初宿 正典 氏 | (平成 30 年 6 月 27 日付) |
| 西川 伸一 氏 | (平成 30 年 6 月 27 日付) |
| 松丸 壽雄 氏 | (平成 30 年 6 月 27 日付) |
| 森 哲郎 氏 | (平成 30 年 6 月 27 日付) |
- (2) 理事の重任
- | | |
|---------|---------------------|
| 秋富 克哉 氏 | (平成 30 年 6 月 27 日付) |
| 大橋 良介 氏 | (平成 30 年 6 月 27 日付) |
| 小川 暁夫 氏 | (平成 30 年 6 月 27 日付) |
| 高田 篤 氏 | (平成 30 年 6 月 27 日付) |
| 谷 徹 氏 | (平成 30 年 6 月 27 日付) |
| 和田 信 氏 | (平成 30 年 6 月 27 日付) |
- (4) 代表理事の重任
- | | |
|---------|---------------------|
| 秋富 克哉 氏 | (平成 30 年 6 月 27 日付) |
| 大橋 良介 氏 | (平成 30 年 6 月 27 日付) |
- (5) 監事の重任
- | | |
|---------|---------------------|
| 高山佳奈子 氏 | (平成 30 年 6 月 27 日付) |
| 津野紀代志 氏 | (平成 30 年 6 月 27 日付) |

2. 理事・監事に関する事項 平成 30 年度 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

理事定数 6 名以上 8 名以内 現在 非常勤 6 名 任期 2 年
監事定数 2 名以内 現在 非常勤 2 名 任期 2 年

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	再任年月日	任期	現職名
理事 (理事長(代表理事))	秋富 克哉	非常勤	理事就任 : H26. 4. 1 代表理事就任: H28. 7. 4	H30. 6. 27 代表理事再任 : H30. 6. 27	平成31年度 に関する定 時評議員会 の終結の時 まで	京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科教授
理事 (所長(代表 理事))	大橋 良介	非常勤	理事就任 : H26. 4. 1 代表理事就任 :	H30. 6. 27 代表理事再任 : H30. 6. 27	平成31年度 に関する定 時評議員会	京都工芸繊維大学名誉教 授 本研究所所長

			H27. 10. 16		の終結の時 まで	(代表理事)
理事 (常務理事)	高田 篤	非常勤	H26. 4. 1	H30. 6. 27	平成31年度 に関する定 時評議員会 の終結の時 まで	大阪大学大学院法学研究 科教授
理事	小川 暁夫	非常勤	H26. 4. 1	H30. 6. 27	平成31年度 に関する定 時評議員会 の終結の時 まで	関西学院大学文学部教授
理事	谷 徹	非常勤	H26. 4. 1	H30. 6. 27	平成31年度 に関する定 時評議員会 の終結の時 まで	立命館大学文学部教授
理事	和田 信	非常勤	H28. 6. 22	H30. 6. 27	平成31年度 に関する定 時評議員会 の終結の時 まで	大阪国際がんセンター心 療・緩和科部長
監事	高山佳奈子	非常勤	H26. 4. 1	H30. 6. 27	平成31年度 に関する定 時評議員会 の終結の時 まで	京都大学大学院法学研究 科教授
監事	津野紀代志	非常勤	H28. 10. 10	H30. 6. 27	平成31年度 に関する定 時評議員会 の終結の時 まで	公認会計士

*役員は無給（定款第 28 条）

3. 評議員に関する事項 平成 30 年度（平成 31 年 3 月 31 日現在）

評議員定数 6 名以上 8 名以内 現在 非常勤 7 名 任期 4 年

役職名	氏名	常勤・ 非常勤 の別	就任年月日	再任年月日	任期	現職名
評議員	安部 浩	非常勤	H29. 6. 21	H30. 6. 27	令和3年度に 関する定時 評議員会の	京都大学大学院人間・環境 学研究科教授

					終結の時まで	
評 議 員	阿部 光幸	非常勤	H26. 4. 1	H30. 6. 27	令和3年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学名誉教授 兵庫県立粒子線医療センター 一名誉顧問
評 議 員	木村 敏	非常勤	H26. 4. 1	H30. 6. 27	令和3年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学名誉教授 河合文化教育研究所所長
評 議 員	初宿 正典	非常勤	H26. 4. 1	H30. 6. 27	令和3年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都大学名誉教授
評 議 員	西川 伸一	非常勤	H28.10.10	H30. 6. 27	令和3年度に関する定時評議員会の終結の時まで	NPO法人オール・アバウト ・サイエンス・ジャパン代 表理事
評 議 員	松丸 壽雄	非常勤	H26. 4. 1	H30. 6. 27	令和3年度に関する定時評議員会の終結の時まで	獨協大学名誉教授 ドイツ恵光日本文化センター 一所長
評 議 員	森 哲郎	非常勤	H26. 4. 1	H30. 6. 27	令和3年度に関する定時評議員会の終結の時まで	京都産業大学文化学部教授

*評議員は無給（定款第13条）

4. 顧問・名誉顧問に関する事項 平成30年度（平成31年3月31日現在）

顧問・名誉顧問 現在 非常勤 4名

役職名	氏 名	常勤・非常勤の別	就任年月日	再任年月日	任 期	現職名
名誉顧問	千 玄室	非常勤	H29. 4. 14	—		裏千家大宗匠

名誉顧問	ヘルムート・シュヴァルツ	非常勤	H29. 4. 14	—		アレクサンダー・フォン・フンボルト財団前総長
名誉顧問	堀場 厚	非常勤	H29. 4. 14	—		株式会社堀場製作所代表取締役会長兼グループCEO
名誉顧問	山極 壽一	非常勤	H28. 10. 10	—		京都大学総長

*顧問・名誉顧問は無給（定款第 41 条）

*名誉顧問については、任期の定めなし。

5. 研究員に関する事項 平成 30 年度（平成 31 年 3 月 31 日現在）

研究員 現在 非常勤 1 名 任期 1 年

役職名	氏 名	常勤・非常勤の別	採用年月日	任 期	備 考
研究員	関口 浩	非常勤	H30. 6. 27	H31. 3. 31 まで	

*研究員は無給（研究員規程第 10 条）

6. 職員に関する事項

職 名	氏 名	就職年月日	担当事務	備 考
事務局長	水野 友晴	H26. 3. 25	事務総括	
事務局員	田邊 正俊	H27. 4. 1	事務補助	

7. 認可、許可、承認等に関する事項

特になし

8. 契約に関する事項

特になし

9. 賛助会員年会費、寄附金に関する事項

総 件 数 42 件 総金額 496,500 円

(内 訳)

賛助会員年会費	(法人)	11 件	260,000 円
	(個人)	30 件	136,500 円
寄 附 金	(法人)	0 件	0 円
	(個人)	1 件	100,000 円

IV 役員会に関する事項

区 分	開 催 年 月 日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
理事会 (第22回)	平成30年6月2日	1. 平成 29 年度事業報告及び決算書類を承認する件 2. 評議員会へ提出する評議員候補者名簿を承認する件	可決 可決

		報告事項 8. パンフレット作成の件についての報告	
理事会 (第 24 回)	平成 31 年 2 月 12 日	<p>1. 平成 31 年度事業計画案及び予算案等を承認決定する件</p> <p>2. 平成 31 年度に基本財産最大 1,000 万円を取崩して、公益目的事業及び法人管理のための資金に充当することを承認決定する件。ただし、評議員会の承認を得ることを条件とする。</p> <p>3. 規程の一部修正を行う件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人日独文化研究所 賛助会員規程 ・公益財団法人日独文化研究所 公的研究費管理規程 ・公益財団法人日独文化研究所 研究不正防止規程 <p>4. 平成 31 年度における研究員の採用計画を協議する件</p> <p>5. 事務局長との契約を更新する件</p> <p>6. 事務局員との契約を更新する件</p> <p>7. ゆうちョダイレクトサービスを新規に申し込む件</p> <p>報告事項 1. 理事長及び所長の職務の執行状況についての報告</p> <p>報告事項 2. 基本財産の一部取崩しの報告</p> <p>報告事項 3. 公開シンポジウム成果報告集「ことば」制作の進捗と、この成果報告集が年度をまたいで発行となった場合の措置について</p> <p>報告事項 4. 地下書庫の整理状況についての報告</p> <p>報告事項 5. 平成 31 年度（第 29 回）公開シンポジウム提題者及び日程の報告</p> <p>報告事項 6. 和田信理事が、年報『文明と哲学』の編集委員に任命されたことの報告</p> <p>報告事項 7. 年報『文明と哲学』第 12 号に掲載予定の対談についての報告</p> <p>報告事項 8. 賛助会員の入退会状況の報告</p> <p>報告事項 9. 今後の日独文化研究所のあり方についての若干の報告</p>	<p>可決</p> <p>可決 (特別決議)</p> <p>一部修正 のうえ可 決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p> <p>可決</p>
理事会 (第 25 回)	平成 31 年 3 月 12 日	<p>1. 公益財団法人日独文化研究所研究員規程を一部改正する件</p> <p>2. 公益財団法人日独文化研究所研究不正防止規程を一部改正する件</p>	<p>可決</p> <p>可決</p>

V 事業報告の付属明細書について

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項は特にないため、付属明細書は作成を省略する。